



Special Olympics

Be a fan™

2014年度 ルール変更 対照表

競技名：陸上競技

変更前の内容	変更後の内容
<p>セクションB-競技のルール</p> <p>2. フィールド競技における一般ルール</p> <p>a. 計測、試技における制限時間、風力測定</p> <p>1) 走幅跳、立幅跳、投てき競技（砲丸投、ソフトボール投、ミニやり投、テニスボール投）では、各アスリートは連続しない3回の試技が許される。3回の試技は全て計測、そして記録され、同成績をなくす目的で使われる。3回の試技のうち最高記録が正式記録となる。アスリートによる2番目や3番目の記録は同成績をなくすために使用される。</p> <p>b. 走幅跳</p> <p>1) 走幅跳においては、アスリートは少なくとも1mを跳べなければならない。この距離は、踏切板と砂場の間の最大距離である。</p> <p>2) 距離の測定は、着地エリアに残された身体あるいは四肢のいずれかの部分によってできた跡から、踏切線までの最短距離を測る。</p> <p>3) 跳躍種目では、アスリートは競技に先立って、踏切をしやすくするためのマー</p>	<p>セクションB-競技ルール</p> <p>2. フィールド競技の一般ルール</p> <p>a. 計測、試技における制限時間、風力測定</p> <p>1) 走幅跳、立幅跳、投てき競技（砲丸投、ソフトボール投、ミニやり投、テニスボール投）では、各アスリートは連続しない3回の試技が許される。3回の試技は全て計測、そして記録され、同成績をなくす目的で使われる。3回の試技のうち最高記録が正式記録となる。アスリートによる2番目や3番目の記録は同成績をなくすために使用される。計測はすべてメートル法で行う。</p> <p>b. 走幅跳</p> <p>1) 走幅跳では踏切板と砂場の間が最大で1m離れているので、アスリートは少なくとも1mの距離を跳べなければならない。踏切板は砂場の手前側の端から1メートル以内に設置しなければならない。</p> <p>2) 距離はすべて、アスリートの身体または衣服が残したうち最も近い痕跡から踏切線までの垂線を計測する。</p> <p>3) 競技が始まる前、アスリートは自分の助走開始位置にマーカーを置くのを大会役員</p>

<p>ク付けを大会役員に手伝ってもらうことができる。</p> <p>c. 立幅跳</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) アスリートは両足を定められた踏切線より後ろの地面に置いてから踏み切る。 2) 踏切位置でのアスリートのつま先は踏切線より後ろに置かなくてはならない。 4) 距離の測定は、着地エリアに残された身体あるいは四肢のいずれかの部分によってできた跡から、踏切線までの最短距離を測る。 <p>h. ミニやり投</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 穂先、柄、グリップはプラスチック製であること 3) ミニやりは4つの穂先から成る。穂先は平ら（突起部分やでこぼこがないでミニやりの表面に垂直であること。 4) 公称重量は 8～15 歳の男性用・女性用共に 300 g。女性は 300 g、男性は 400 g である。 	<p>に手伝ってもらうことができる。</p> <p>c. 立幅跳</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 試技に入る際は定められた踏切線より後ろの地面に両足を置いてから踏み切る。踏切板の仕様は走幅跳の踏切版と同じとする。アスリートは踏切版の上で試技を開始しても良い。 2) アスリートは定められた踏切線より手前よりすべての試技を開始する。 4) 距離はすべて、アスリートの身体または衣服が残したうち最も近い痕跡から踏切線までの垂線を計測する。 <p>h. ミニやり投げ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 先端、グリップ、尾翼はプラスチックまたは硬質の適切な材料でできていること。 3) ミニやりの尾翼は3つないしは4つとする。平らな形状（突起やでこぼこが無い）で本体の表面に垂直に接合していること。 4) 最小重量は 8～15 歳の男性用・女性用共に 300 g。女性は 300 g、男性は 400 g である。
---	---